

BroadbandMeasurmentSummit2024 要旨

3月7日開催。Broadband Breakfastというニュース配信会社がブロードバンド整備について定期的なニュース配信と毎週の無料ウェビナーを開催しており、今回は不定期で開催するリアルイベントの1つ。現地参加者35名に加え、オンラインの参加もあり。キーノートを含め、セッションは5つ。

パネルセッション1,2では、FCCも州政府もトランプ政権時代から一貫してデジタルデバイド解消を進めることに注力しており、現状把握のために各州で進められているブロードバンド対応マップ策定作業について、州/関連事業者それぞれの立場から意見が述べられた。これまでFCCが作成していた地図は国勢調査区単位のため過大計上されていたが、ブロードバンド対応マップはより詳細な単位で計測することにより、どこに投資するべきか、ニーズがあるのか把握しやすくするというもの。ただしこれにも正確さに問題があり、broadbandnow社が半年かけて全米6万件分の住所を調査したところ、マップとは異なるケースが多く見受けられた。

また、パネルセッション3では4月より大手事業者に義務付けられたBroadband Labelsというサービス内容表示について議論が行われた。消費者は細かく品質表示をされても分かりづらいため、優/良/可のように簡単な表示で十分ではないかといった意見や、指標の標準化と実行速度の計測方法統一化が必要であるということ、また、どんなに表示を簡単にしてもブロードバンド品質について理解することが難しい消費者もいるため、専門家からの助言も望まれるといった意見も出された。



Broadband Measurement Summit

Understanding broadband speeds, prices, availability, reliability and competition has never been more urgent.

中央大学 実積寿也

Broadband Measurement Summit (2024/3/7) の報告

Broadband Measurement Summitとは

- ワシントンDCに拠点を置くニュースメディア企業であるBroadband Breakfastが開催したイベント。
 - 同社は2008年に活動を開始。
 - ブロードバンド整備のテーマに関してニュース配信を行うことに加え、毎週水曜日にテレコム関係のテーマを中心に無料のウェビナーを開催
 - リアルイベントも不定期に開催
- Broadband Measurement Summit
 - 開催日時： 2024年3月7日
 - 開催場所： Clyde's of Gallery Place, Washington DC
 - 参加者数： オフライン35名程度(+オンライン視聴者)
- 本イベントのスポンサー

BROADBANDNOW®

 **SPEEDTEST**
by OOKLA

BroadbandToolkit.com



セッションと概要

- Keynote Address from the Office of FCC Chairwoman Jessica Rosenworcel
 - 現行化中のNational Broadband Mapと、4月10日から順次開始のBroadband Nutrition Labelについて
- PANEL 1: The Challenge Process for State Broadband Offices
 - BEAD対象確定プロセスとして各州で進められているBroadband Map策定作業について、州の立場から
- PANEL 2: The Value of Mapping Assets Beyond BEAD
 - 州レベルでのBroadband Map策定作業について、関連事業者の立場から
- Special Address: Crowdsourced Audit of FCC's Broadband Availability Claims
 - FCCが策定しているNational Broadband Mapと現実の相違について実証調査の結果を報告
- PANEL 3: The FCC's Broadband Nutrition Labels
 - 4月から導入予定のLabelに期待する点、今後改善が必要だと思われる点について
 - 通信実効品質計測について
- PANEL 4: Measuring and Tracking Broadband Pricing
 - 米国のブロードバンドサービスの品質、value for money、消費者からの反応について

Broadband Facts	
Provider Name	
Service Plan Name and/or Speed Tier	
Fixed or Mobile Broadband Consumer Disclosure	
Monthly Price	[\$]
This Monthly Price [is/is not] an introductory rate. [if introductory rate is applicable, identify length of introductory period and the rate that will apply after introductory period concludes]	
This Monthly Price [does not] require[s] a [x year/x month] contract. [only required if applicable; if so, provide link to terms of contract]	
Additional Charges & Terms	
Provider Monthly Fees	[\$]
[Itemize each fee or enter "None."]	
One-time Fees at the Time of Purchase	[\$]
[Itemize each fee or enter "None."]	
Early Termination Fee	[\$]
Government Taxes [Varies by Location/Taxes Included]	
Discounts & Bundles	
Click Here for available billing discounts and pricing options for broadband service bundled with other services like video, phone, and wireless service, and use of your own equipment like modems and routers. [Any links to such discounts and pricing options on the provider's website must be provided in this section.]	
Affordable Connectivity Program (ACP)	
The ACP is a government program to help lower the monthly cost of internet service. To learn more about the ACP, including to find out whether you qualify, visit GetInternet.gov .	
Participates in the ACP	[Yes/No]
Speeds Provided with Plan	
Typical Download Speed	[] Mbps
Typical Upload Speed	[] Mbps
Typical Latency	[] ms
Data Included with Monthly Price	
Charges for Additional Data Usage	[] GB [\$/GB]
Network Management	
Privacy	Read our Policy Read our Policy
Customer Support	
Contact Us: example.com/support / (555) 555-5555	
Learn more about the terms used on this label by visiting the Federal Communications Commission's Consumer Resource Center.	
fcc.gov/consumer	
[Unique Plan Identifier Ex. F0005937974123AB0456EM0789]	

主な発言、所感

Panel 1&2

- Digital divideの解消はFCC、州政府共通の課題。
- 現状把握のためにbroadband availability mapの作成・現行化が急がれている。
- FCC作成の地図はかつてはセンサスブロック単位で調査していたため、availabilityが過大評価されていた。現在ではより詳細な単位（全米1.5億ポイント）で計測
- 州のマップではないと個別コミュニティの情報を得られないことができない。
- 全米の状況を知るためには、基準が統一されているFCC作成のマップが必須。
- 現状では連邦と州の作業の相互参照は不十分であり、標準化も十分ではないが、それへの対処は将来の課題
- 正確な地図を作成するためには、ISP自身を含むあらゆるソースを活用する必要がある。

Special Address

- digital divide解消の目的からみるとFCCマップの詳細さは未だ十分ではなく、ブロードバンドが利用可能であるとされていても実際には利用が不可能な場所も多い。
 - 6ヶ月をかけて全米6万件の住所をbroadbandnow社が調査した結果、cable 14.1%、DSL 53.4%、FTTH 25.7%、Fixed Wireless 58.4%が誤表示（false positive）

主な発言、所感

Panel 3&4

- 消費者は複数の品質尺度や細かな料金表示よりも、それぞれが一つの代表尺度に集約されたものを要求
 - 数値で示すのではなく、。Excellent/good/poorくらいで十分である可能性
 - 情報集約方法のオープン化・標準化が大事。代表尺度から元データを参照できればさらに良い
 - 技術的には複数の尺度を総合的に判断する方がより正確に現状分析が可能
- 会社ごとの品質計測方法が完全に統一されていないことは問題
- 料金情報を含む以上は、地域ごとのユニバ付加金を反映させるため、ラベルは地域ごとに作成する必要がある。
- ラベル内容は各社が2年間保存することになっているが、FCCで集約する仕組みはない
- 現状に追加すべき情報は、ダウンタイムなどのreliabilityに関する情報や、輻輳時の実効品質
- 低リテラシーの消費者から専門家による助言を求める声があるため、条件比較サービスの登場を容易にする machine readable formatの採用が望まれる。（現状はスプレッドシート表示らしい）
- 消費者は現状の通信品質には概ね満足しているが、支払った料金に見合うとは考えていない。

全体所感

- このテーマできちんとイベントを成功させることができるだけの聴衆がいるのは驚き。
- 総務省における品質計測への取り組みが全く知られていなかったのは残念